

# 歴史認識と過去責任

—記憶・責任・未来—

2014年4月26日(土) 13:30~18:00

参加費無料

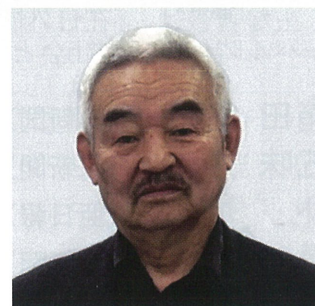
龍谷大学 深草キャンパス 21号館 603教室

<第1部 基調講演>

『問われる日本の  
歴史認識と戦後責任』

田中 宏 氏

(一橋大学名誉教授・本センター客員研究員)



<第2部 シンポジウム>

## 歴史認識と過去責任

—メディアは『日韓の溝』をどう埋めるのか—

- ◆報告者 箱田 哲也氏 (朝日新聞)  
五味 洋治氏 (東京新聞)
- ◆コメンテーター 湯谷 茂樹氏 (毎日新聞)  
朴 炯準氏 (東亜日報東京特派員)  
李 洙任氏 (龍谷大学経営学部教授・本センター長)



## <開催趣旨>

昨年、韓国の裁判所は植民地支配下の強制連行被害者の請求権を認めました。他方、日本国内では、政府をはじめとして「日韓条約で全て解決済である」と唱えられています。「日韓」条約は、あくまでも国家間の条約であり、被害者個人の請求権や日本の「植民地支配責任」は問われませんでした。韓国の裁判所の判決は、この問題の解決を正面から取り上げたものと言えます。

本シンポジウムでは、全体テーマ「歴史認識と過去責任—記憶・責任・未来—」の下に、国際的な視野から日韓条約の問題点あるいは「植民地支配責任」といった視点からこの問題を考えます。また、メディアのあり方もあわせて検証します。

## 【講演者・パネリスト 略歴】

### 田中 宏

専門は、日本アジア関係史、ポスト植民地問題、在日外国人問題、日本の戦後補償等。2004年、指紋押捺制度の撤廃、旧戦傷軍属への戦後補償、などの活動が認められ、東京弁護士会人権賞を受賞。最近の活動として、「ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク」共同代表、「村山談話を継承し発展させる会」共同代表。

主な著書は、『在日外国人 第三版』岩波新書、『未解決の戦後補償』(共著、創史社) 『グローバル時代の日本社会と国籍』(共著、明石書店) 『戦後60年を考える』創史社

箱田 哲也 (朝日新聞) 外報部次長、ソウル支局長などを経て、現在、国際社説担当。

五味 洋治 (東京新聞) ソウル支局、中国総局勤務を経て、現在、編集委員。

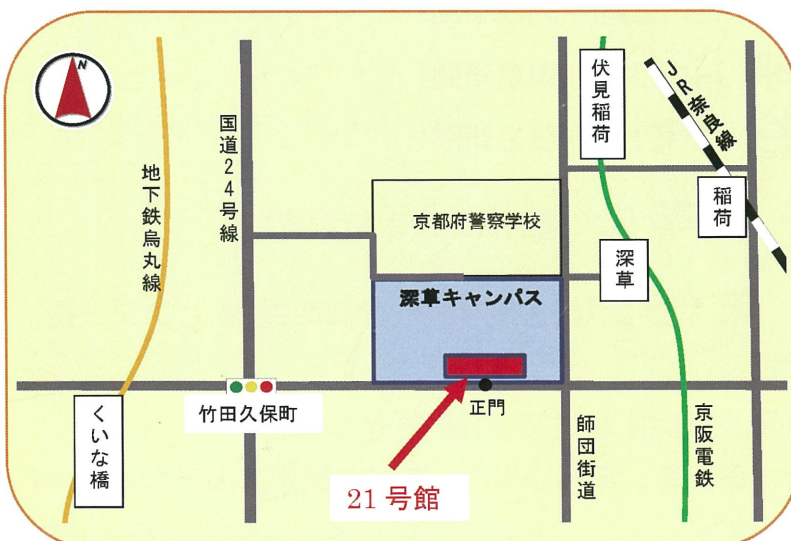
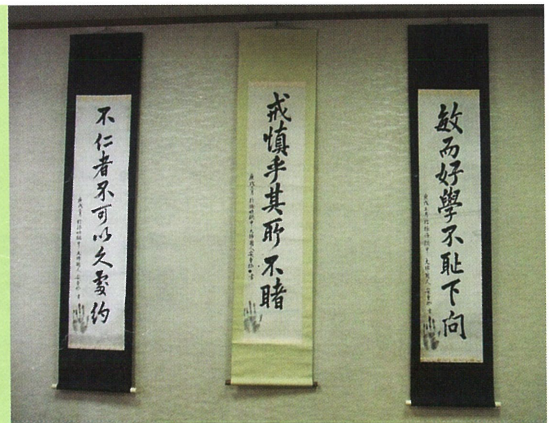
朴 炯準 (東亜日報) 現在、東京特派員。

湯谷 茂樹 (毎日新聞) 編集委員を経て、現在神戸支局長。

## 【安重根東洋平和研究センター】

本センターは、「日韓未来平和交流事業の学際的研究」として、龍谷大学所蔵の安重根の「遺墨」をはじめとする歴史・文化資産の調査研究とその有効利用をテーマに、昨年4月1日に発足しました。

右の写真は本センターの名前の由来にもなった、龍谷大学深草図書館特別書庫に保管されている安重根直筆の遺墨3幅です。2010年にはソウルの安重根義士祈念館に貸し出しをし、没100年の安重根特別展において海外初公開となった経緯があります。また、毎年春と秋には図書館内にレプリカが学生に公開展示されています。



## 会場アクセス

JR 奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分  
京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分  
京都市営地下鉄「くいな橋」駅下車、

東へ徒歩約7分

※京阪「深草」駅に近い東門は現在工事中です。キャンパス南側の正門など、他の門からお入りください。

<龍谷大学深草キャンパス>

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

代表 TEL 075-642-1111